

「努力と感謝」

【東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部】
国際ビジネス科 男子

私は、中学生のときに愛知商業からJR東海に就職できることを知りました。高校卒業後の進路についてまだはっきりと決めていなかったので選択肢が多く、そして新たな知識を習得し成長できると考え、愛知商業に入学しました。

1年生のときから、多くの先生方に進路について様々な選択肢があることを教えていただき就職したいという思いがさらに強くなりました。

2年生の3学期に新型コロナウイルスが流行し、学校も休校となり進路についてとても不安な気持ちになりましたが、担任の先生から後押しをしていただき、ずっと目標としてきた企業に挑戦することを決めました。

試験当日までは、入学当初からの目標を達成するため努力を惜しまず、支えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを大切にし、勉強とバトンを両立し校風である「文武両道」を実践しながら準備を進めました。学校では先生方に何度も面接練習をしていただき、回数を重ねるごとに自信がつき、試験当日は真の自分を出すことができました。

結果が得られたのは自分一人の力ではなく、支えてくださった方々の力添えのおかげであると感じました。その方々への感謝の気持ちを忘れず、4月から全力で働き、社会に貢献するというかたちで恩返しをします。

「光陰矢の如し」

【愛知時計電機株式会社】
情報処理科 女子

私は、入学時より卒業後は就職したいと考えていたため、県内随一の就職率を誇る愛知商業高等学校に入学をしました。入学後は就職に向けて、企業選択の幅を広げるために、1年生のころから資格取得や定期考査の勉強に意欲的に励みました。

私は経理研究部に所属し、簿記が得意なため、将来は簿記や会計学に関わる職業に就くのだろうと、当時は就職について漠然と考えていました。しかし、情報処理科を選択し、2年生からプログラミングや基本情報技術者試験の学習を進めるにつれ、システムエンジニアになりたいと真剣に考えるようになりました。

3年生になり、受験する企業が決定してからは、面接練習と筆記試験の勉強に熱心に取り組みました。愛知商業高等学校に初めて求人がきた企業のため、過去の資料が何も

なく不安な要素が多かったのですが、3年間部活動や資格取得に力を注いできたおかげで、自信をもって本番の試験に挑むことができました。その結果、当日は落ち着いて力を出すことができ、無事に内定をいただきました。

私は高校生活で、よく考えて選択することや、努力し続けることの大切さを実感しました。愛知商業高等学校に入学したこと、経理研究部に入部したこと、情報処理科に入ったことすべての選択に誇りをもっています。目標が定まっていなくても、常に向上心をもって生きてきた過去の自分に感謝しています。

みなさんも、今はまだ明確な目標がなくても、今の自分ができることを見つけて一歩ずつ前進してください。何事も取り組んで損をすることはないです。努力は必ず自分の財産になります。

「悔いのないように」

【中部電力パワーグリッド株式会社】
経理科 女子

私は、愛知商業の就職、進学ともに高い実績をあげていることに魅力を感じ、入学を決めました。入学当初は大学進学を目標に、良い成績を取るほど、進路の選択肢は広がると思ったので、計画的に勉強に一生懸命取り組みました。

私が進路について深く考えるようになったのは2年生の3学期からです。今まで経験したことのないコロナ禍に見舞われ、自分の将来についてたくさん悩みました。先生方にはたくさんのアドバイスをいただき、家族にも相談し、私は早く社会に出て貢献したいという気持ちが次第に強くなりました。そして、大学進学ではなく就職を選択しました。

私は、進路に対して後悔することがないように今まで努力をしてきました。そのように勉強で努力し続ける中で、部活と両立するのは大変でしたが、どんな状況でも自分の限界を決めない、目の前のことを全力でやり切るということをもットーに取り組んできました。その結果、目標を成し遂げることができ、自分がしてきた努力は何一つ無駄がなかったと実感しています。私はこの経験を通し、進路がまだ明確ではなくても、「今自分にできる最大限のこと」を考えて行動を一つでも変えることが自分を成長させ、将来にも繋がる大きな一歩だと思いました。

「いつかのための努力」

【株式会社中日新聞社】

私は入学当初、高校卒業後は専門学校に進学したいと考えていました。ですが、1年生の初めの進路講話で就職という選択肢も視野に入れ始めました。就職と専門学校のどちらを希望しても、自分が一番いきたいと思った進路先に行くことができるよう、1年生の頃からテストや検定勉強に一生懸命取り組みました。進路別のガイダンスで就職のガイダンスに参加したり、授業で簿記を勉強したりしていくうちに、簿記の知識を生かせる企業に就職したいと考えようになりました。

3年生の夏から本格的に就職先を考えるようになり、最初は何を基準に企業を決めればいいのか分からず悩みました。担任の先生や進路の先生に相談したり、両親と話し合ったりして、株式会社中日新聞社を受験することに決めました。受験先が確定すると、面接練習や筆記試験の準備に取り組み始めました。人前で話すことや作文を書くことが苦手だったので、他の人より早く練習を始め、回数を重ねることで自信を持てるようにしました。その結果、試験で練習の成果を発揮することができました。

ここまでこられたのは、面接や作文の指導をしてくださった先生方や、悩んだときに相談に乗ってくださった担任の先生や部活動の顧問の先生、そしていつもそばで支えてくれた友達、家族のおかげだと思います。4月からは、今まで支えてくださった方へ恩返しができるよう頑張っていきます。

「感謝」

【名南経営ソリューションズ】

情報処理科 女子

私は中学生の時から高校卒業後は就職したいと考えていたため、県内で1番の商業高校である愛知商業に進学しました。入学してからは、どのような職種、どのような企業で働きたいかが漠然としていました。そのため、

3年生になった時に納得した選択ができるように高校生活を過ごそうと思い、勉強面でも部活動でも常に努力するようになってきました。

私が進路について本格的に考え始めたのは3年生の春です。進路を選択するためにたくさんの求人票を何度も見て、両親や先生方に相談しました。選考会の前日まで悩みましたが、多くの方の助言を参考に行きたい企業を決めることが出来ました。

受験する企業が決まってからは面接練習をしました。私は緊張すると上手く話すことかできないので、面接の

ことを考えるとどうしても憂鬱になっていました。しかし、たくさんの先生方に面接指導をしていただき、繰り返し練習した結果、自分の言いたいことをはっきりと言えるようになりました。

進路を決めることは思ったよりも悩み、大変だと感じました。4月からはこれまで支えてもらった方々への感謝の気持ちを忘れず、社会人としての責任の重さを自覚し、日々成長して行けるように前向きに頑張りたいです。



「積極的に行動を」

【トヨタパーソナルサポート株式会社】

国際ビジネス科 男子

私は、中学3年生のとき高校卒業後に就職しようか進学しようか悩んでいました。そのため、高校に入ってからでも選択肢が広い愛知商業に入学をしました。私は高校2年生の2学期に就職しようと決めました。就職に決めた理由は愛知商業で得た知識や技術を早く社会に出て生かしたいと思ったからです。

そして、2年生の3学期から進路について動き始めようとなりました。しかし、コロナの影響で休校になってしまい、進路講話などがなくなってしまいました。休校中、自分は本当に就職できるのだろうかなど色々と不安がありました。

しかし、緊急事態宣言が解除されてからは自分から積極的に動きました。また、進路の就職担当の先生に相談したりしました。そして、親、担任の先生、進路の先生と話し

合い、企業を決めました。選考会で受験する企業が決まった時は、安心すると同時に不安な気持ちが出てきました。面接練習は思うようにいかず、投げ出したくなる時もありました。しかし、諦めずに面接練習を数多くこなし、上達することができました。当日も練習通り上手く面接することができ、無事に企業から内定をいただくことができました。

1、2年生の皆さんには残りの高校生活において、何事にも全力で積極的に挑戦して行ってほしいと思います。

「進路選択までの道のり」

【ホクレン農業協同組合連合会】

事務科 女子



私は入学当初、「事務員になりたい」というぼんやりとした考えしか持っておらず、自分の将来について深く考えたことはほとんどありませんでした。そんな私がこの就職先に興味を持ったきっかけは、部活動での経験です。私の所属していた部活動では商品開発や販売活動など商業高校ならではの経験をさせていただく機会が多くあり、その中で中学生の頃は知らなかった自分の得意なことや好きなことを見つけることができました。その経験を活かせる職業に就きたいと考え、農畜産物の流通を手掛ける就職先を選びました。

私が高校生活でしておいてよかったと感じているのは、「文武両道」の精神のもと、普段の勉強と部活動の両立に努めたことです。もちろん大変なこともありましたが、なるべく上位の成績を保つことで、より自分の就きたい職業を選べる可能性が上がりますし、何より乗り越えたからこそ自分に自信が持てるようになりました。反対に、自己分析ができていなかったことは少し後悔しました。1年生のうちから何事にも積極的に挑戦し、自分の強みや弱みをより多く把握したり、それらを磨く努力をしたりしていればよかったと感じることがありました。

高校3年間をとおして何か一つでも全力で打ち込めば、その経験が進路後にも必ず生きてくると思うので、これから進路を決める人は、残りの学校生活で熱中できることを探してみしてほしいです。